

第6期

保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修募集要項

1. 研修の目的

保健医療分野で特化される力量を獲得し、他機関・他職種との連携が図れ、管理能力を有する熟達したソーシャルワーカーの養成をすることを目的とします。

2. 研修期間

2009年8月～2010年8月（1年1ヶ月間）

3. 受講対象者

（一般コース）

日本社会福祉士会会員であって、次の①および③のいずれの条件も満たしている者

（日本医療社会事業協会会員コース 以下「協会会員コース」）

日本医療社会事業協会会員で社会福祉士の資格保有者であり、次の②および③のいずれの条件も満たしている者

① 以下のア)～エ)のいずれかの条件を満たしている者

ア) 保健医療分野における相談援助実務経験が10年以上であること。

イ) 日本医療社会事業協会の専門講座を修了していること。

ウ) 日本社会福祉士の生涯研修制度「共通研修課程」修了有効期間内にある者（2009年4月～6月19日の申請による見込者含む。6月19日（消印有効）までに申請してください。申請書には「保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修の受講申込中」とのメモ書きをしてください）。

エ) 所属の日本社会福祉士会都道府県支部の推薦がある者。

② 以下のア)あるいはイ)のいずれかの条件を満たしている者

ア) 保健医療分野における相談援助実務経験が10年以上であること。

イ) 日本医療社会事業協会の専門講座を修了していること。

③ 保健医療領域におけるソーシャルワーク実践事例3例を提出できること

（①、②を確認後に2例、スクーリング前に1例を提出することとします。）

4. 定員

60名（受講受付は先着順となります）

5. 受講料

47,000円（テキスト代含まず）

※テキストは「保健医療ソーシャルワーク実践」第1巻～第3巻を用います。受講決定後にお送りするテキスト購入用紙で中央法規出版（株）に申し込まれれば定価の1割引でご購入いただけます。

※スクーリング受講費（33,000円を予定）、受講時の交通費、宿泊費、食費等は含まれておりません。

6. 研修方法等

通信研修（課題レポート）とスクーリング（3泊4日）

本研修の「一般コース」は、（社）日本社会福祉士会生涯研修制度専門分野別研修として位置付けられています。生涯研修センターによる専門分野別研修課程修了認定証発行の申請には全科目を修了することが必要です。ただし、「協会会員コース」の修了者は（社）日本社会福祉士会専門分野別研修課程修了認定証の申請の対象とはなりません。また受講開始後に同会に入会されても同様です。したがって専門分野別研修課程修了認定の必要な方は、受講お申込み時点で（社）日本社会福祉士会に所属されることをお勧めします。

7. 申込方法

日本医療社会事業協会ホームページ（URL: <http://www.jaswhs.or.jp/>）の「研修情報」の専門研修の受講申込書フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。（webでの申込ができない場合は下記事務局までご連絡ください。） 申込を受け付け次第、事例の提出方法についてご連絡いたしますので、事例を提出してください。事例の提出をもって正式な受講申込みとさせていただきます。

日本社会福祉士会都道府県支部の推薦は、所属する支部にお問い合わせください。（推薦書の様式は日本社会福祉士の事務局月報4月号に掲載されています。）

申込先 日本医療社会事業協会事務局 専門研修担当

住所 〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル302号

TEL : 03-5366-1057 FAX : 03-5366-1058

8. 申込期限

2009年6月19日（金）まで

9. 実施形態

- ・一般コース : 主催 (社) 日本社会福祉士会 事業委託実施 (社) 日本医療社会事業協会
- ・協会会員コース : 主催・教育実施 (社) 日本医療社会事業協会

10. お知らせ

- ・「一般コース」と「協会会員コース」については、受講対象者の要件は異なりますが、教育内容、学習方法、受講費用などは同じです。
- ・「一般コース」の修了者には(社)日本社会福祉士会より修了証明書が発行されます。なお、専門分野別修了認定証の発行には別途申請が必要です。
- ・「協会会員コース」の修了者に対しては(社)日本医療社会事業協会より修了証が発行されます。

11. お問い合わせ先

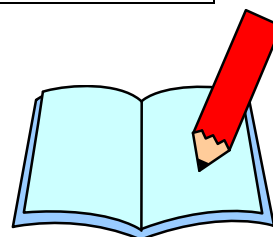
(社) 日本医療社会事業協会 事務局 専門研修担当

TEL : 03-5366-1057 FAX : 03-5366-1058 E-Mail : jaswhc@d3.dion.ne.jp

12. 研修科目

● 通信

	《科目名》
科目群 1	<ul style="list-style-type: none">○ 保健医療分野のソーシャルワークの歴史と動向○ 医療と社会・経済○ 医療機関の機能とソーシャルワーク
科目群 2	<ul style="list-style-type: none">○ 医の倫理とソーシャルワーク○ 生活障害とソーシャルワーク○ 連携・協働
科目群 3	<ul style="list-style-type: none">○ 実践の評価・記録○ 組織と業務管理○ 保健・医療・福祉関連法規・制度



●スクーリングの内容（予定）

<p>【講義】</p> <p>医療制度に関する講義 医学知識に関する講義 トピックス</p> <p>【演習】</p> <p>演習を通して、次の事項について修得します。 ①価値、倫理、権利の理解 ②アセスメント能力・技術 ③面接技術、コミュニケーション技術 ④実践研究能力（記録、評価） ⑤プレゼンテーション</p>

13. 研修日程（概要・予定）

年・月	内 容	備 考
2009年8月	第6期研修開始	研修案内送付
	第1学期（科目群1）	
9月		
10月		
		課題・レポートの提出（科目群1）
11月	第2学期（科目群2）	
12月		
2010年1月		
		課題・レポートの提出（科目群2）
2月	第3学期（科目群3）	
3月		
4月		
		課題・レポートの提出（科目群3）
5月～7月	第3学期レポート評価作業	スクーリング案内/申込み
8月	スクーリング（東京）3泊4日	*スクーリングの開催日程・場所は、2010年に受講者宛に連絡いたします。
	第6期研修終了	

第6期保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修
研修期間：2009年8月～2010年8月

申込受付：2009年6月19日（金）まで

〔 1年を通して9課題のレポートを提出し、スクーリング（3泊4日）に参加することで、経験豊富な講師のコメントを得ることができます。 〕

***（ご参考）通信科目および昨年度スクーリング講義内容 ***
本研修の修了生は、翌年度より自由にスクーリングを受講できます。

通信科目

	科目	出題者
第1学期	保健医療分野のソーシャルワークの歴史と動向	井元 真澄（梅花女子大学） 金田 知子（神戸女学院大学）
	医療と社会・経済	廣井 良典（千葉大学） 開原 成允（国際医療福祉大学）
	医療機関の機能とソーシャルワーク	谷 修一（国際医療福祉大学） 田中千枝子（日本福祉大学）
第2学期	医の倫理とソーシャルワーク	北島 英治（東海大学） 櫛島 次郎（科学技術文明研究所）
	生活障害とソーシャルワーク	宮崎 清恵（神戸学院大学） 福山 和女（ルーテル学院大学）
	連携・協働	小山 秀夫（静岡県立大学） 熊谷 忠和（川崎医療福祉大学）
第3学期	実践の評価・記録	岡田 まり（立命館大学） 武田加代子（天理大学）
	組織と業務管理	田尾 雅夫（京都大学） 宮内佳代子（帝京大学医学部附属溝口病院）
	保健・医療・福祉関連法規・制度	富樫 八郎（沖縄大学） 池田恵利子（いけだ後見支援ネット）

スクーリング内容

	内容	講師	ファシリテーター
第1日目	【講義A】 目指したい SW 像	前田 ケイ （ルーテル学院大学）	相原 和子 （国際医療福祉大学） 大川原順子 （太田総合病院附属 太田熱海病院） 笹岡 真弓 （文京学院大学） 堀越由紀子 （田園調布学園大学） 高山恵理子 （上智大学） 松山 真 （立教大学） 小西加保留 （関西学院大学） 田中千枝子 （日本福祉大学） 内藤 雅子 （済生会京都府病院） 宮崎 清恵 （神戸学院大学）
	【講義B】 福祉医療政策を考える	井上 恒男 （同志社大学）	
	【講義C】 医療 SW の評価	芝野松次郎 （関西学院大学）	
第2日目	【講義と演習A】 SW アセスメント	堀越由紀子ほか （田園調布学園大学）	
	【講義と演習B】 家族の見方・考え方	亀口 憲治 （東京大学）	
第3日目	【講義と演習C】 価値と倫理	田中千枝子 （日本福祉大学）	
	【講義と演習D】 医療における多職種連携	松岡 千代 （兵庫県立大学）	
第4日目	【講義D】 権利擁護と医療SW～独立型社会福祉士事務所の視点から～	田村 満子 （有）たむらソーシャルネット	
	Gディスカッションと発表		

《問合せ先/申込先》

（社）日本医療社会事業協会 事務局 専門研修担当
〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷ヂンゴビル302号
TEL：03-5366-1057 FAX:03-5366-1058